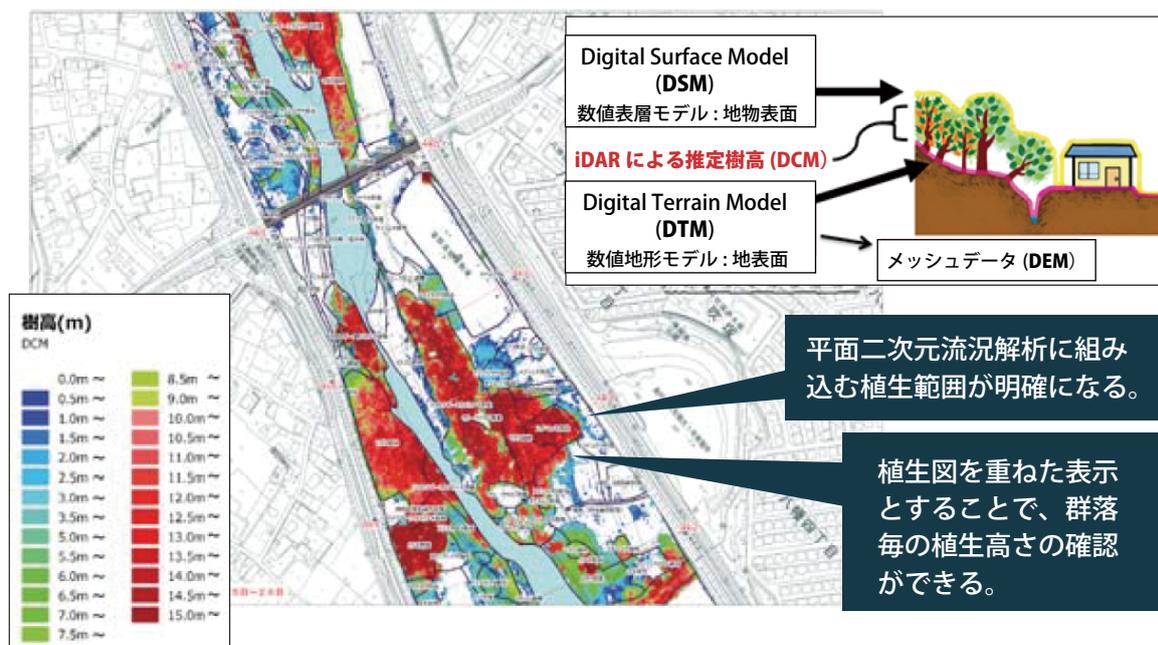


レーザー測量データを活用した 微地形・植生高の解析

《洪水解析、優先伐採箇所の選定など、河川管理に活用》

レーザー測量成果の点群データを活用し、DSM から樹冠高、DSM と DEM の差分 (DCM) から植生高の分布を求め、さらに複数年のデータを経年比較することで、植生の生長量を求めることができます。取得した植生データを平面二次元流況解析モデルに組み込み、洪水解析も実施可能。優先伐採箇所の選定など、これらの技術を河川管理に活用することができます。



植生高、植生範囲のデータ取得イメージ

【お問い合わせ先】



建設環境研究所

営業部 メール：hg_eigyo@kensetsukankyo.co.jp

■当社の技術・提供サービスはホームページをご覧ください。
<https://www.kensetsukankyo.co.jp/business.html>

- ・本カタログは 2023 年 1 月時点の内容です。カタログ内記載のサービスの提供内容は予告なく変更する場合がございます。
- ・内容についての詳細のお問合せは、当社営業部までお問合せください。
- ・記載されている会社名、団体名、サービス名は、各社の商標または登録商標です。